

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券
信託期間	約5年間(2015年1月26日~2020年1月17日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	α50コース イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) III-ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド(α50クラス)」(以下「ブラジル・ボンド・ファンド(α50クラス)」といいます。)の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	α100コース イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) III-ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド(α100クラス)」(以下「ブラジル・ボンド・ファンド(α100クラス)」といいます。)の受益証券(円建) ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	α50コース ①主として、ブラジル・ボンド・ファンド(α50クラス)の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の50%程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により50%から大きくかき離す場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド(α50クラス)とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ブラジル・ボンド・ファンド(α50クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド(α50クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	α100コース ①主として、ブラジル・ボンド・ファンド(α100クラス)の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムを獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の100%程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により100%から大きくかき離す場合があります。 ③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド(α100クラス)とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ブラジル・ボンド・ファンド(α100クラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ④ブラジル・ボンド・ファンド(α100クラス)では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

# ダイワ・ブラジル・リアル債α (毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース/α100コース

## 運用報告書 (全体版)

- 第30期 (決算日 2017年8月17日)
- 第31期 (決算日 2017年9月19日)
- 第32期 (決算日 2017年10月17日)
- 第33期 (決算日 2017年11月17日)
- 第34期 (決算日 2017年12月18日)
- 第35期 (決算日 2018年1月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ブラジル・リアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α50コース/α100コース」は、このたび、第35期の決算を行ないました。

ここに、第30期~第35期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3254>  
<3255>

α50コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブラジル (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6 期 末 (2015年 8 月 17日)	7,746	120	△ 8.4	8,028	△10.0	0.0	99.8	291
7 期 末 (2015年 9 月 17日)	6,752	120	△11.3	6,879	△14.3	0.0	99.1	307
8 期 末 (2015年 10 月 19日)	6,658	120	0.4	6,613	△ 3.9	0.0	99.4	344
9 期 末 (2015年 11 月 17日)	6,843	120	4.6	7,137	7.9	0.0	98.9	357
10 期 末 (2015年 12 月 17日)	6,495	80	△ 3.9	6,946	△ 2.7	0.0	99.5	351
11 期 末 (2016年 1 月 18日)	6,139	80	△ 4.2	6,448	△ 7.2	0.0	99.7	333
12 期 末 (2016年 2 月 17日)	6,058	80	△ 0.0	6,473	0.4	0.0	99.7	330
13 期 末 (2016年 3 月 17日)	6,515	80	8.9	7,262	12.2	0.0	99.7	357
14 期 末 (2016年 4 月 18日)	6,802	80	5.6	7,718	6.3	0.0	99.7	347
15 期 末 (2016年 5 月 17日)	6,951	80	3.4	8,057	4.4	0.0	99.6	318
16 期 末 (2016年 6 月 17日)	6,664	80	△ 3.0	7,841	△ 2.7	0.0	99.5	264
17 期 末 (2016年 7 月 19日)	7,110	80	7.9	8,706	11.0	0.0	99.3	314
18 期 末 (2016年 8 月 17日)	6,992	80	△ 0.5	8,507	△ 2.3	0.0	98.5	331
19 期 末 (2016年 9 月 20日)	6,842	80	△ 1.0	8,474	△ 0.4	－	99.2	331
20 期 末 (2016年 10 月 17日)	7,245	80	7.1	9,101	7.4	0.0	99.4	354
21 期 末 (2016年 11 月 17日)	6,964	80	△ 2.8	8,803	△ 3.3	0.0	99.3	321
22 期 末 (2016年 12 月 19日)	7,344	80	6.6	9,791	11.2	0.0	99.7	762
23 期 末 (2017年 1 月 17日)	7,595	80	4.5	10,294	5.1	0.0	99.3	885
24 期 末 (2017年 2 月 17日)	7,895	80	5.0	10,964	6.5	0.0	98.3	602
25 期 末 (2017年 3 月 17日)	7,850	80	0.4	11,048	0.8	0.0	96.4	1,118
26 期 末 (2017年 4 月 17日)	7,587	80	△ 2.3	10,571	△ 4.3	0.0	99.8	1,133
27 期 末 (2017年 5 月 17日)	7,888	80	5.0	11,375	7.6	0.0	99.8	1,224
28 期 末 (2017年 6 月 19日)	7,200	80	△ 7.7	10,503	△ 7.7	0.0	99.7	1,228
29 期 末 (2017年 7 月 18日)	7,503	80	5.3	11,218	6.8	－	99.7	1,343
30 期 末 (2017年 8 月 17日)	7,425	80	0.0	11,246	0.2	－	98.0	1,371
31 期 末 (2017年 9 月 19日)	7,569	80	3.0	11,667	3.7	－	94.5	1,498
32 期 末 (2017年 10 月 17日)	7,462	80	△ 0.4	11,696	0.3	－	99.4	1,005
33 期 末 (2017年 11 月 17日)	7,142	80	△ 3.2	11,353	△ 2.9	－	99.0	1,139
34 期 末 (2017年 12 月 18日)	7,055	80	△ 0.1	11,351	△ 0.0	－	99.5	1,168
35 期 末 (2018年 1 月 17日)	7,166	80	2.7	11,582	2.0	－	99.6	1,169

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブラジ ル (円換算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブラジ ル (ブラジル・リアルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブラジ ル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

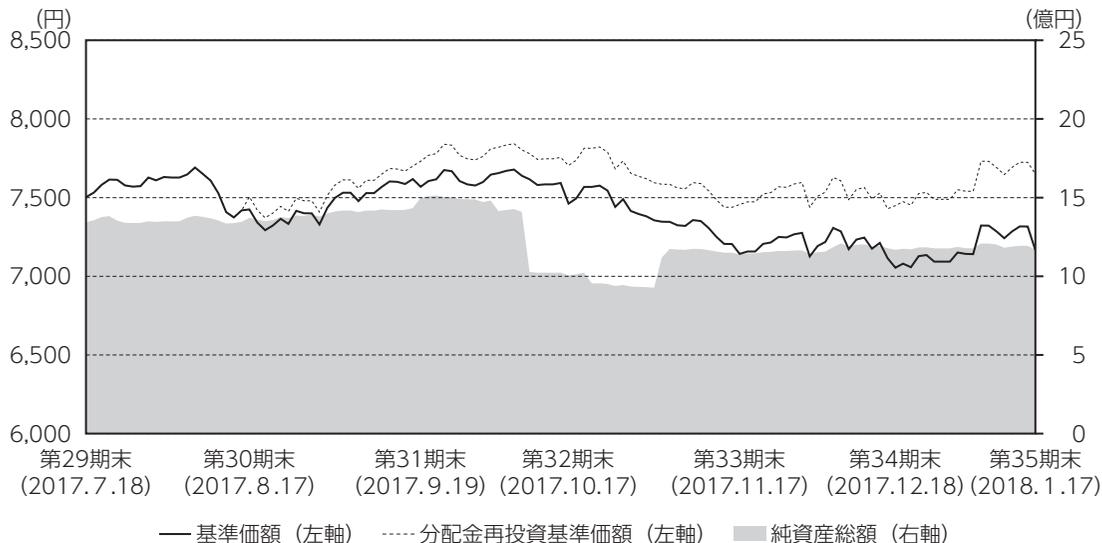
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### ■ 基準価額・騰落率

第30期首：7,503円

第35期末：7,166円（既払分配金480円）

騰落率：2.0%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことが寄与し、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入も、安定的に基準価額の上昇要因となりました。一方、為替相場が下落したことは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ B ラ ジ ル ( 円 換 算 )		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第30期	(期首) 2017年7月18日	7,503	－	11,218	－	－	99.7
	7月末	7,610	1.4	11,315	0.9	0.0	99.8
	(期末) 2017年8月17日	7,505	0.0	11,246	0.2	－	98.0
第31期	(期首) 2017年8月17日	7,425	－	11,246	－	－	98.0
	8月末	7,435	0.1	11,330	0.7	－	99.8
	(期末) 2017年9月19日	7,649	3.0	11,667	3.7	－	94.5
第32期	(期首) 2017年9月19日	7,569	－	11,667	－	－	94.5
	9月末	7,599	0.4	11,686	0.2	－	99.6
	(期末) 2017年10月17日	7,542	△0.4	11,696	0.3	－	99.4
第33期	(期首) 2017年10月17日	7,462	－	11,696	－	－	99.4
	10月末	7,381	△1.1	11,394	△2.6	－	99.5
	(期末) 2017年11月17日	7,222	△3.2	11,353	△2.9	－	99.0
第34期	(期首) 2017年11月17日	7,142	－	11,353	－	－	99.0
	11月末	7,276	1.9	11,425	0.6	－	99.1
	(期末) 2017年12月18日	7,135	△0.1	11,351	△0.0	－	99.5
第35期	(期首) 2017年12月18日	7,055	－	11,351	－	－	99.5
	12月末	7,142	1.2	11,413	0.5	－	99.6
	(期末) 2018年1月17日	7,246	2.7	11,582	2.0	－	99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017.7.19~2018.1.17)

**■ブラジル債券市況**

ブラジル債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。当作成期間の前半は、インフレ率が低下傾向を見せる中で中央銀行の利下げが続いたことや、大統領が汚職を隠ぺいしたとの疑惑に対する起訴が受理されなかったことで政治の不透明感が後退したことなどにより、金利低下傾向となりました。後半は、年金改革の進ちよくが遅れることとなり金利は上昇する場面があったものの、中央銀行が利下げ方針を維持していたことや資源価格の上昇を背景に、上昇幅を縮めました。

**■為替相場**

ブラジル・レアルの対円為替相場は下落しました。当作成期間の前半は、景気の回復傾向や政治の不透明感の後退によってレアルは上昇傾向となりました。その後は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどの円買い要因もあり、対円で一進一退の推移となりました。後半は、年金改革の進ちよくが遅れることとなりレアルは下落する場面があったものの、資源価格の上昇を受けて下落幅を縮めました。

**■為替ボラティリティ相場**

インプライド・ボラティリティ（※）は、政治の不透明感を背景に小幅に上昇する場面はありましたが、おおむね安定して推移しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レート（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）」）といたします。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017.7.19~2018.1.17)

### ■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

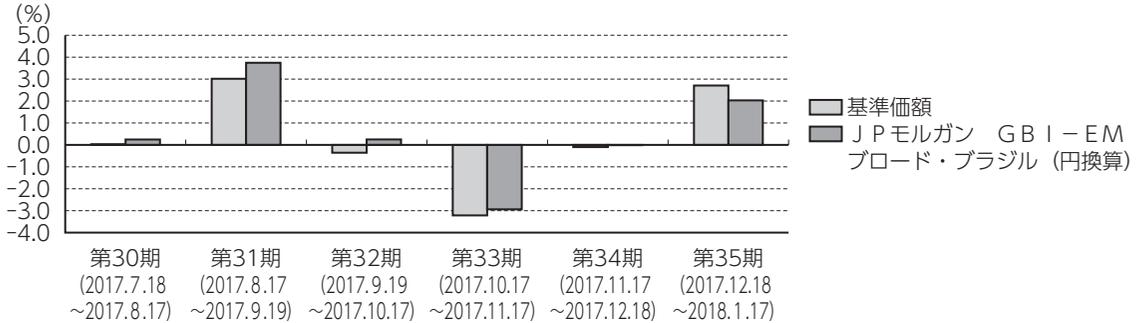
通貨カバードコール戦略（ブラジル・リアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

第30期～第35期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。  
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2017年7月19日 ～2017年8月17日	2017年8月18日 ～2017年9月19日	2017年9月20日 ～2017年10月17日	2017年10月18日 ～2017年11月17日	2017年11月18日 ～2017年12月18日	2017年12月19日 ～2018年1月17日
当期分配金（税込み） (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.07	1.05	1.06	1.11	1.12	1.10
当期の収益 (円)	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,559	2,614	2,633	2,653	2,672	2,703

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	113.93円	126.81円	98.97円	99.86円	95.65円	110.64円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,246.78	2,277.33	2,282.61	2,358.28	2,373.16	2,374.46
(d) 分配準備積立金	279.09	289.89	332.16	275.46	283.96	298.44
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,639.81	2,694.04	2,713.74	2,733.61	2,752.78	2,783.55
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,559.81	2,614.04	2,633.74	2,653.61	2,672.78	2,703.55

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第35期 (2017.7.19～2018.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	45円	0.608%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,404円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(28)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.097	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(7)	(0.097)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.709	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

決算期	第30期～第35期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	11,215.054	552,999	12,844.698	652,891

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

第30期				～	第35期				
買付		売付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価		
	千口	千円	円		千口	千円	円		
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	8,760.125	431,400	49	DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50（ケイマン諸島）	12,844.698	652,891	50		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第30期～第35期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

区分	第30期			第35期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 480	百万円 50	% 10.4	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,923,895	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第30期～第35期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 35 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 50	24,458.32	1,164,778	99.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年1月17日現在

項 目	第 35 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,164,778	% 98.4
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	18,876	1.6
投資信託財産総額	1,183,704	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 35 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千□ 49	千□ 49	千円 49

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年8月17日)、(2017年9月19日)、(2017年10月17日)、(2017年11月17日)、(2017年12月18日)、(2018年1月17日)現在

項 目	第 30 期 末	第 31 期 末	第 32 期 末	第 33 期 末	第 34 期 末	第 35 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,387,874,286円</b>	<b>1,516,041,040円</b>	<b>1,018,832,879円</b>	<b>1,153,756,780円</b>	<b>1,182,786,726円</b>	<b>1,183,704,774円</b>
コール・ローン等	43,525,455	100,180,101	18,815,121	24,692,141	20,475,839	18,876,229
投資信託受益証券(評価額)	1,344,298,866	1,415,810,979	999,967,798	1,129,014,684	1,162,260,932	1,164,778,595
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,965	49,960	49,960	49,955	49,955	49,950
<b>(B) 負債</b>	<b>16,145,470</b>	<b>17,569,371</b>	<b>13,138,895</b>	<b>13,888,322</b>	<b>14,494,794</b>	<b>14,290,247</b>
未払収益分配金	14,779,296	15,837,984	10,782,201	12,768,238	13,248,429	13,054,423
未払解約金	1,474	174,389	1,065,163	—	—	—
未払信託報酬	1,355,679	1,537,740	1,263,866	1,085,200	1,203,474	1,185,048
その他未払費用	9,021	19,258	27,665	34,884	42,891	50,776
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,371,728,816</b>	<b>1,498,471,669</b>	<b>1,005,693,984</b>	<b>1,139,868,458</b>	<b>1,168,291,932</b>	<b>1,169,414,527</b>
元本	1,847,412,043	1,979,748,107	1,347,775,201	1,596,029,857	1,656,053,716	1,631,802,990
次期繰越損益金	△ 475,683,227	△ 481,276,438	△ 342,081,217	△ 456,161,399	△ 487,761,784	△ 462,388,463
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,847,412,043□</b>	<b>1,979,748,107□</b>	<b>1,347,775,201□</b>	<b>1,596,029,857□</b>	<b>1,656,053,716□</b>	<b>1,631,802,990□</b>
1万口当り基準価額(C/D)	7,425円	7,569円	7,462円	7,142円	7,055円	7,166円

\* 第29期末における元本額は1,790,255,390円、当作成期間（第30期～第35期）中における追加設定元本額は692,373,816円、同解約元本額は850,826,216円です。

\* 第35期末の計算口数当りの純資産額は7,166円です。

\* 第35期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は462,388,463円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α50コース

■損益の状況

第30期 自2017年7月19日 至2017年8月17日 第33期 自2017年10月18日 至2017年11月17日  
 第31期 自2017年8月18日 至2017年9月19日 第34期 自2017年11月18日 至2017年12月18日  
 第32期 自2017年9月20日 至2017年10月17日 第35期 自2017年12月19日 至2018年1月17日

項 目	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
(A) 配当等収益	22,413,892円	26,023,053円	14,611,357円	17,031,493円	17,052,235円	18,743,803円
受取配当金	22,414,755	26,023,429	14,612,096	17,033,815	17,053,157	18,744,099
受取利息	3	－	28	4	－	1
支払利息	△ 866	△ 376	△ 767	△ 2,326	△ 922	△ 297
(B) 有価証券売買損益	△ 20,697,157	17,939,166	△ 17,102,650	△ 50,568,938	△ 17,838,384	13,689,864
売買益	309,491	17,939,148	1,940,670	889,142	－	13,984,721
売買損	△ 21,006,648	18	△ 19,043,320	△ 51,458,080	△ 17,838,384	△ 294,857
(C) 信託報酬等	△ 1,364,700	△ 1,547,977	△ 1,272,273	△ 1,092,419	△ 1,211,481	△ 1,192,933
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	352,035	42,414,242	△ 3,763,566	△ 34,629,864	△ 1,997,630	31,240,734
(E) 前期繰越損益金	△ 20,760,286	△ 34,921,230	△ 5,604,318	△ 18,719,225	△ 65,964,023	△ 79,707,550
(F) 追加信託差損益金	△440,495,680	△472,931,466	△321,931,132	△390,044,072	△406,551,702	△400,867,224
(配当等相当額)	( 415,074,388)	( 450,854,661)	( 307,645,125)	( 376,389,595)	( 393,009,238)	( 387,466,568)
(売買損益相当額)	(△855,570,068)	(△923,786,127)	(△629,576,257)	(△766,433,667)	(△799,560,940)	(△788,333,792)
(G) 合計(D + E + F)	△460,903,931	△465,438,454	△331,299,016	△443,393,161	△474,513,355	△449,334,040
(H) 収益分配金	△ 14,779,296	△ 15,837,984	△ 10,782,201	△ 12,768,238	△ 13,248,429	△ 13,054,423
次期繰越損益金(G+H)	△475,683,227	△481,276,438	△342,081,217	△456,161,399	△487,761,784	△462,388,463
追加信託差損益金	△440,495,680	△472,931,466	△321,931,132	△390,044,072	△406,551,702	△400,867,224
(配当等相当額)	( 415,074,388)	( 450,854,661)	( 307,645,125)	( 376,389,595)	( 393,009,238)	( 387,466,568)
(売買損益相当額)	(△855,570,068)	(△923,786,127)	(△629,576,257)	(△766,433,667)	(△799,560,940)	(△788,333,792)
分配準備積立金	57,829,419	66,660,561	47,324,811	47,135,103	49,618,136	53,700,097
繰越損益金	△ 93,016,966	△ 75,005,533	△ 67,474,896	△113,252,430	△130,828,218	△115,221,336

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,049,191円	25,106,805円	13,339,084円	15,939,073円	15,840,753円	18,054,407円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	415,074,388	450,854,661	307,645,125	376,389,595	393,009,238	387,466,568
(d) 分配準備積立金	51,559,524	57,391,740	44,767,928	43,964,268	47,025,812	48,700,113
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	487,683,103	533,353,206	365,752,137	436,292,936	455,875,803	454,221,088
(f) 分配金	14,779,296	15,837,984	10,782,201	12,768,238	13,248,429	13,054,423
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	472,903,807	517,515,222	354,969,936	423,524,698	442,627,374	441,166,665
(h) 受益権総口数	1,847,412,043□	1,979,748,107□	1,347,775,201□	1,596,029,857□	1,656,053,716□	1,631,802,990□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(7,425円)	(7,569円)	(7,462円)	(7,142円)	(7,055円)	(7,166円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

α100コース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル ( 円 換 算 )		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 受 益 証 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
6 期 末 ( 2 0 1 5 年 8 月 1 7 日 )	7,829	180	△ 7.4	8,028	△10.0	0.0	99.7	781
7 期 末 ( 2 0 1 5 年 9 月 1 7 日 )	6,811	180	△10.7	6,879	△14.3	0.0	98.2	705
8 期 末 ( 2 0 1 5 年 1 0 月 1 9 日 )	6,712	180	1.2	6,613	△ 3.9	0.0	99.5	651
9 期 末 ( 2 0 1 5 年 1 1 月 1 7 日 )	6,800	180	4.0	7,137	7.9	0.0	97.8	679
10 期 末 ( 2 0 1 5 年 1 2 月 1 7 日 )	6,450	120	△ 3.4	6,946	△ 2.7	0.0	99.9	662
11 期 末 ( 2 0 1 6 年 1 月 1 8 日 )	6,118	120	△ 3.3	6,448	△ 7.2	0.0	99.5	632
12 期 末 ( 2 0 1 6 年 2 月 1 7 日 )	6,044	120	0.8	6,473	0.4	0.0	99.5	624
13 期 末 ( 2 0 1 6 年 3 月 1 7 日 )	6,469	120	9.0	7,262	12.2	0.0	99.5	672
14 期 末 ( 2 0 1 6 年 4 月 1 8 日 )	6,733	120	5.9	7,718	6.3	0.0	99.6	706
15 期 末 ( 2 0 1 6 年 5 月 1 7 日 )	6,913	120	4.5	8,057	4.4	0.0	99.5	684
16 期 末 ( 2 0 1 6 年 6 月 1 7 日 )	6,673	120	△ 1.7	7,841	△ 2.7	0.0	99.4	617
17 期 末 ( 2 0 1 6 年 7 月 1 9 日 )	6,995	120	6.6	8,706	11.0	0.0	98.1	584
18 期 末 ( 2 0 1 6 年 8 月 1 7 日 )	6,904	120	0.4	8,507	△ 2.3	0.0	99.4	609
19 期 末 ( 2 0 1 6 年 9 月 2 0 日 )	6,745	120	△ 0.6	8,474	△ 0.4	－	99.4	664
20 期 末 ( 2 0 1 6 年 1 0 月 1 7 日 )	7,040	120	6.2	9,101	7.4	0.0	95.9	882
21 期 末 ( 2 0 1 6 年 1 1 月 1 7 日 )	6,763	120	△ 2.2	8,803	△ 3.3	0.0	99.6	1,105
22 期 末 ( 2 0 1 6 年 1 2 月 1 9 日 )	7,019	120	5.6	9,791	11.2	0.0	98.3	1,295
23 期 末 ( 2 0 1 7 年 1 月 1 7 日 )	7,098	120	2.8	10,294	5.1	0.0	93.9	1,647
24 期 末 ( 2 0 1 7 年 2 月 1 7 日 )	7,312	120	4.7	10,964	6.5	0.0	98.6	2,011
25 期 末 ( 2 0 1 7 年 3 月 1 7 日 )	7,273	120	1.1	11,048	0.8	0.0	99.5	2,482
26 期 末 ( 2 0 1 7 年 4 月 1 7 日 )	7,036	120	△ 1.6	10,571	△ 4.3	0.0	99.8	2,777
27 期 末 ( 2 0 1 7 年 5 月 1 7 日 )	7,204	120	4.1	11,375	7.6	0.0	99.3	3,491
28 期 末 ( 2 0 1 7 年 6 月 1 9 日 )	6,657	120	△ 5.9	10,503	△ 7.7	0.0	99.7	3,954
29 期 末 ( 2 0 1 7 年 7 月 1 8 日 )	6,802	120	4.0	11,218	6.8	－	98.3	4,869
30 期 末 ( 2 0 1 7 年 8 月 1 7 日 )	6,688	120	0.1	11,246	0.2	－	99.2	5,939
31 期 末 ( 2 0 1 7 年 9 月 1 9 日 )	6,750	120	2.7	11,667	3.7	－	99.5	6,595
32 期 末 ( 2 0 1 7 年 1 0 月 1 7 日 )	6,601	120	△ 0.4	11,696	0.3	－	99.7	7,089
33 期 末 ( 2 0 1 7 年 1 1 月 1 7 日 )	6,288	120	△ 2.9	11,353	△ 2.9	－	99.2	6,950
34 期 末 ( 2 0 1 7 年 1 2 月 1 8 日 )	6,188	120	0.3	11,351	△ 0.0	－	99.4	7,311
35 期 末 ( 2 0 1 8 年 1 月 1 7 日 )	6,260	120	3.1	11,582	2.0	－	99.4	7,613

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル ( 円 換 算 ) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル ( 円 換 算 ) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ ブ ラ ジ ル ( 円 換 算 ) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

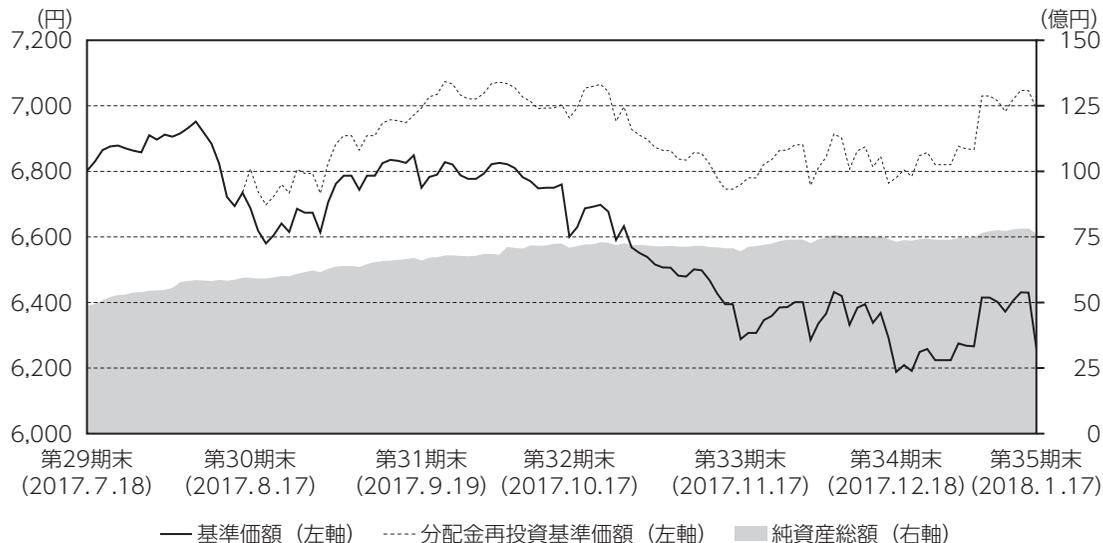
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### ■ 基準価額・騰落率

第30期首：6,802円

第35期末：6,260円（既払分配金720円）

騰落率：2.8%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資した結果、債券価格が上昇したことが寄与し、基準価額は上昇しました。また、債券の利息収入とオプションのプレミアム収入も、安定的に基準価額の上昇要因となりました。一方、為替相場が下落したことは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M プ ロ ー ド ・ B ラ ジ ル ( 円 換 算 )		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第30期	(期首) 2017年7月18日	円	%			%	%
	7月末	6,802	－	11,218	－	－	98.3
	(期末) 2017年8月17日	6,897	1.4	11,315	0.9	0.0	99.5
第31期	(期首) 2017年8月17日	6,808	0.1	11,246	0.2	－	99.2
	8月末	6,688	－	11,246	－	－	99.2
	(期末) 2017年9月19日	6,706	0.3	11,330	0.7	－	99.2
第32期	(期首) 2017年9月19日	6,870	2.7	11,667	3.7	－	99.5
	9月末	6,750	－	11,667	－	－	99.5
	(期末) 2017年10月17日	6,793	0.6	11,686	0.2	－	98.1
第33期	(期首) 2017年10月17日	6,721	△0.4	11,696	0.3	－	99.7
	10月末	6,601	－	11,696	－	－	99.7
	(期末) 2017年11月17日	6,539	△0.9	11,394	△2.6	－	99.8
第34期	(期首) 2017年11月17日	6,408	△2.9	11,353	△2.9	－	99.2
	11月末	6,288	－	11,353	－	－	99.2
	(期末) 2017年12月18日	6,401	1.8	11,425	0.6	－	99.3
第35期	(期首) 2017年12月18日	6,308	0.3	11,351	△0.0	－	99.4
	12月末	6,188	－	11,351	－	－	99.4
	(期末) 2018年1月17日	6,268	1.3	11,413	0.5	－	98.8
		6,380	3.1	11,582	2.0	－	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017.7.19~2018.1.17)

## ■ブラジル債券市況

ブラジル債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。当作成期間の前半は、インフレ率が低下傾向を見せる中で中央銀行の利下げが続いたことや、大統領が汚職を隠ぺいしたとの疑惑に対する起訴が受理されなかったことで政治の不透明感が後退したことなどにより、金利低下傾向となりました。後半は、年金改革の進ちよくが遅れることとなり金利は上昇する場面があったものの、中央銀行が利下げ方針を維持していたことや資源価格の上昇を背景に、上昇幅を縮めました。

## ■為替相場

ブラジル・レアルの対円為替相場は下落しました。当作成期間の前半は、景気の回復傾向や政治の不透明感の後退によってレアルは上昇傾向となりました。その後は、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりなどの円買い要因もあり、対円で一進一退の推移となりました。後半は、年金改革の進ちよくが遅れることとなりレアルは下落する場面があったものの、資源価格の上昇を受けて下落幅を縮めました。

## ■為替ボラティリティ相場

インプライド・ボラティリティ（※）は、政治の不透明感を背景に小幅に上昇する場面はありましたが、おおむね安定して推移しました。

※オプションプレミアム（オプションの買い手が売り手に支払う対価）が織り込んでいる通貨の対円為替レート（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017.7.19~2018.1.17)

### ■当ファンド

当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期間を通じてブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

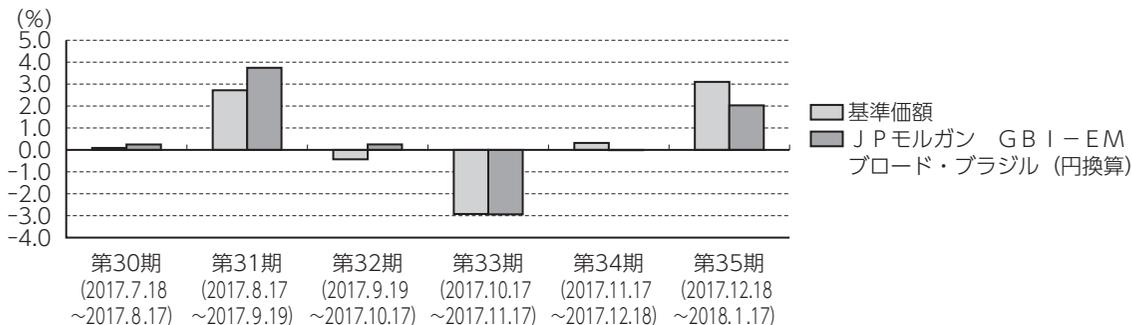
通貨カバードコール戦略（ブラジル・リアルの円に対するコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

第30期～第35期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ120円といたしました。  
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2017年7月19日 ～2017年8月17日	2017年8月18日 ～2017年9月19日	2017年9月20日 ～2017年10月17日	2017年10月18日 ～2017年11月17日	2017年11月18日 ～2017年12月18日	2017年12月19日 ～2018年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	120	120	120	120	120	120
対基準価額比率（%）	1.76	1.75	1.79	1.87	1.90	1.88
当期の収益（円）	120	120	120	120	120	120
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,636	3,701	3,720	3,774	3,785	3,809

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
(a) 経費控除後の配当等収益	150.20円	176.21円	128.49円	170.71円	129.40円	141.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,267.23	3,312.04	3,367.18	3,387.22	3,420.34	3,435.02
(d) 分配準備積立金	339.41	332.96	344.70	336.43	356.11	353.56
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,756.85	3,821.22	3,840.39	3,894.38	3,905.86	3,929.89
(f) 分配金	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	3,636.85	3,701.22	3,720.39	3,774.38	3,785.86	3,809.89

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府および政府関係機関等が発行する名目債ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第35期 (2017.7.19～2018.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.607%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,592円です。
（投 信 会 社）	(14)	(0.216)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(25)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0.009)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0.620	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

決算期	第30期～第35期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	106,951.239	3,901,852	9,416.341	328,342

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

第30期				～	第35期			
買付		売付			売付		買付	
銘柄	口数	金額	平均単価		銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円			千口	千円	円
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	78,685.091	2,898,300	36		DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100（ケイマン諸島）	9,416.341	328,342	34

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第30期～第35期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

区分	第30期			第35期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 480	百万円 50	% 10.4	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,923,895	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第30期～第35期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 35 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
DAIWA BRAZILIAN REAL FUND ALPHA 100	222,952,503	7,570,352	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年1月17日現在

項 目	第 35 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 7,570,352	% 97.5
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	49	0.0
コール・ローン等、その他	196,599	2.5
投資信託財産総額	7,767,001	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 35 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 49	千口 49	千円 49

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年8月17日)、(2017年9月19日)、(2017年10月17日)、(2017年11月17日)、(2017年12月18日)、(2018年1月17日)現在

項 目	第 30 期 末	第 31 期 末	第 32 期 末	第 33 期 末	第 34 期 末	第 35 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>6,051,632,948円</b>	<b>6,740,916,861円</b>	<b>7,225,325,602円</b>	<b>7,090,358,203円</b>	<b>7,483,153,478円</b>	<b>7,767,001,914円</b>
コール・ローン等	159,820,263	176,378,920	158,525,905	197,614,680	214,890,649	196,599,721
投資信託受益証券(評価額)	5,891,762,720	6,564,487,981	7,066,749,737	6,892,693,568	7,268,212,874	7,570,352,243
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	49,965	49,960	49,960	49,955	49,955	49,950
<b>(B) 負債</b>	<b>112,159,209</b>	<b>145,401,655</b>	<b>135,484,788</b>	<b>140,218,314</b>	<b>172,150,842</b>	<b>153,753,622</b>
未払収益分配金	106,577,358	117,260,716	128,877,757	132,645,398	141,774,980	145,935,102
未払解約金	－	21,126,029	－	－	22,581,180	－
未払信託報酬	5,544,904	6,931,768	6,480,704	7,397,289	7,568,615	7,542,189
その他未払費用	36,947	83,142	126,327	175,627	226,067	276,331
<b>(C) 純資産総額(A－B)</b>	<b>5,939,473,739</b>	<b>6,595,515,206</b>	<b>7,089,840,814</b>	<b>6,950,139,889</b>	<b>7,311,002,636</b>	<b>7,613,248,292</b>
元本	8,881,446,505	9,771,726,400	10,739,813,094	11,053,783,175	11,814,581,714	12,161,258,514
次期繰越損益金	△2,941,972,766	△3,176,211,194	△3,649,972,280	△4,103,643,286	△4,503,579,078	△4,548,010,222
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>8,881,446,505口</b>	<b>9,771,726,400口</b>	<b>10,739,813,094口</b>	<b>11,053,783,175口</b>	<b>11,814,581,714口</b>	<b>12,161,258,514口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	6,688円	6,750円	6,601円	6,288円	6,188円	6,260円

\*第29期末における元本額は7,159,702,411円、当作成期間（第30期～第35期）中における追加設定元本額は5,868,059,260円、同解約元本額は866,503,157円です。

\*第35期末の計算口数当りの純資産額は6,260円です。

\*第35期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,548,010,222円です。

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α100コース

■損益の状況

第30期 自2017年7月19日 至2017年8月17日 第33期 自2017年10月18日 至2017年11月17日  
 第31期 自2017年8月18日 至2017年9月19日 第34期 自2017年11月18日 至2017年12月18日  
 第32期 自2017年9月20日 至2017年10月17日 第35期 自2017年12月19日 至2018年1月17日

項 目	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
(A) 配当等収益	138,983,300円	179,059,530円	144,524,531円	196,155,391円	160,504,449円	177,571,382円
受取配当金	138,988,526	179,065,379	144,529,798	196,158,726	160,510,848	177,576,616
受取利息	10	-	23	4	15	3
支払利息	△ 5,236	△ 5,849	△ 5,290	△ 3,339	△ 6,414	△ 5,237
(B) 有価証券売買損益	△ 138,118,448	2,870,866	△ 173,750,166	△ 401,117,615	△ 132,762,877	57,789,803
売買益	27,294	2,753,325	803,889	4,737,560	550,082	58,100,231
売買損	△ 138,145,742	117,541	△ 174,554,055	△ 405,855,175	△ 133,312,959	△ 310,428
(C) 信託報酬等	△ 5,581,851	△ 6,977,963	△ 6,523,889	△ 7,446,589	△ 7,619,055	△ 7,592,453
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	△ 4,716,999	174,952,433	△ 35,749,524	△ 212,408,813	20,122,517	227,768,732
(E) 前期繰越損益金	△ 243,537,888	△ 351,685,560	△ 286,196,531	△ 441,980,490	△ 773,752,884	△ 891,539,505
(F) 追加信託差損益金	△ 2,587,140,521	△ 2,882,217,351	△ 3,199,148,468	△ 3,316,608,585	△ 3,608,173,731	△ 3,738,304,347
(配当等相当額)	( 2,901,780,573)	( 3,236,440,362)	( 3,616,298,971)	( 3,744,168,757)	( 4,040,997,726)	( 4,177,421,386)
(売買損益相当額)	(△5,488,921,094)	(△6,118,657,713)	(△6,815,447,439)	(△7,060,777,342)	(△7,649,171,457)	(△7,915,725,733)
(G) 合計(D+E+F)	△ 2,835,395,408	△ 3,058,950,478	△ 3,521,094,523	△ 3,970,997,888	△ 4,361,804,098	△ 4,402,075,120
(H) 収益分配金	△ 106,577,358	△ 117,260,716	△ 128,877,757	△ 132,645,398	△ 141,774,980	△ 145,935,102
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,941,972,766	△ 3,176,211,194	△ 3,649,972,280	△ 4,103,643,286	△ 4,503,579,078	△ 4,548,010,222
追加信託差損益金	△ 2,587,140,521	△ 2,882,217,351	△ 3,199,148,468	△ 3,316,608,585	△ 3,608,173,731	△ 3,738,304,347
(配当等相当額)	( 2,901,780,573)	( 3,236,440,362)	( 3,616,298,971)	( 3,744,168,757)	( 4,040,997,726)	( 4,177,421,386)
(売買損益相当額)	(△5,488,921,094)	(△6,118,657,713)	(△6,815,447,439)	(△7,060,777,342)	(△7,649,171,457)	(△7,915,725,733)
分配準備積立金	328,275,742	380,295,667	379,332,343	427,954,791	431,843,139	455,886,463
繰越損益金	△ 683,107,987	△ 674,289,510	△ 830,156,155	△ 1,214,989,492	△ 1,327,248,486	△ 1,265,592,338

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
(a) 経費控除後の配当等収益	133,401,448円	172,191,819円	138,000,641円	188,708,801円	152,885,393円	171,842,875円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,901,780,573	3,236,440,362	3,616,298,971	3,744,168,757	4,040,997,726	4,177,421,386
(d) 分配準備積立金	301,451,652	325,364,564	370,209,459	371,891,388	420,732,726	429,978,690
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,336,633,673	3,733,996,745	4,124,509,071	4,304,768,946	4,614,615,845	4,779,242,951
(f) 分配金	106,577,358	117,260,716	128,877,757	132,645,398	141,774,980	145,935,102
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	3,230,056,315	3,616,736,029	3,995,631,314	4,172,123,548	4,472,840,865	4,633,307,849
(h) 受益権総口数	8,881,446,505□	9,771,726,400□	10,739,813,094□	11,053,783,175□	11,814,581,714□	12,161,258,514□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期
1 万 口 当 り 分 配 金	120円	120円	120円	120円	120円	120円
(単 価)	(6,688円)	(6,750円)	(6,601円)	(6,288円)	(6,188円)	(6,260円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－  
ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド  
α50クラス／α100クラス

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース／α100コース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド α50クラス／α100クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年1月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書  
2017年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$ 40,155,979
現金および現金同等物	2,666,067
未収：	
売却済み証券	1,610,965
資産合計	44,433,011

負債

金融負債（損益通算後の評価額）	5,038
未払：	
購入済み証券	1,610,290
専門家報酬	17,768
保管会社報酬	14,187
報酬支払代行会社報酬	12,480
副運用会社報酬	8,277
管理会社報酬	7,574
名義書換代理人報酬	3,012
その他負債	3,333
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	1,681,959
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$ 42,751,052

包括利益計算書

2017年5月31日に終了した年度

<b>収益</b>	
受取利息	\$ 1,524,481
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現利益	939,982
外国為替取引による純実現損失	(11,287)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価益の純変動	667,614
外国為替換算による評価益の純変動	218
<b>収益合計</b>	<b>3,121,008</b>
<b>費用</b>	
保管会社報酬	65,914
副運用会社報酬	47,078
管理会社報酬	44,993
報酬支払代行会社報酬	37,663
専門家報酬	18,216
受託会社報酬	10,000
名義書換代理人報酬	9,080
雑費	1,089
<b>費用合計</b>	<b>234,033</b>
<b>金融費用控除前営業利益</b>	<b>2,886,975</b>
<b>金融費用</b>	
償還可能受益証券の所有者への分配金	(5,608,182)
<b>分配後および税引き前損失</b>	<b>(2,721,207)</b>
源泉徴収税	(289,188)
<b>運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額</b>	<b>\$ (3,010,395)</b>

投資明細  
2017年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESOU 6% 05/15/45/BRL/	\$	582,948.99
NOTA DO TESOU 6% 08/15/50/BRL/		347,782.23
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/		7,816,964.20
LETRA TESOUR ZCP 07/01/17/BRL/		1,528,803.81
NOTA DO TESO 10% 01/01/25/BRL/		5,497,801.87
LETRA TESOUR ZCP 01/01/18/BRL/		2,927,944.99
LETRA TESOUR ZCP 07/01/18/BRL/		981,749.57
NOTA DO TESOU 6% 05/15/55/BRL/		148,736.00
NOTA DO TESO 10% 01/01/27/BRL/		20,323,247.56
		<u>40,155,979.22</u>

仕組スワップ契約

α100クラス - 2017年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.0%）

戦略	決済期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2017/6/5	Credit Suisse International	\$ 32,746,722	\$ (4,323)

α50クラス - 2017年5月31日現在の仕組スワップ契約の残高：（純資産の-0.0%）

戦略	決済期日	取引相手	名目元本	評価額
FX Option Overlay	2017/6/5	Credit Suisse International	\$ 10,834,446	\$ (715)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース/α100コース）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第35期の決算日（2018年1月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を28ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年7月19日から2018年1月17日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
679	国庫短期証券 2017/7/31	350,003			
707	国庫短期証券 2017/12/11	70,000			
355	2年国債 0.1% 2017/8/15	40,002			
680	国庫短期証券 2017/8/7	10,000			
682	国庫短期証券 2017/8/14	10,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年1月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第6期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

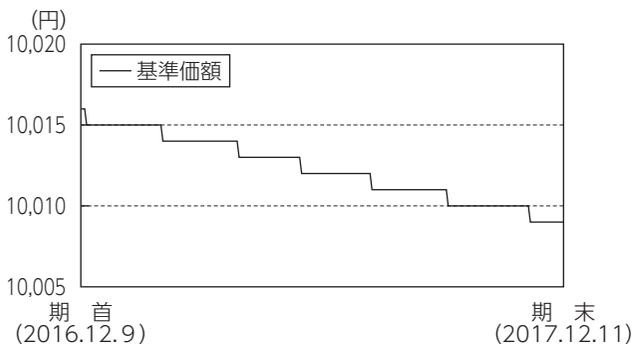
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月9日	円	%	%
	10,016	-	28.2
12月末	10,015	△0.0	-
2017年1月1日	10,015	△0.0	31.1
2月末	10,014	△0.0	25.3
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	35.3
5月末	10,012	△0.0	5.1
6月末	10,012	△0.0	0.6
7月末	10,011	△0.0	0.1
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,010	△0.1	-
10月末	10,010	△0.1	-
11月末	10,009	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円 期末：10,009円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況  
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	33,310,870	(36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
645	国庫短期証券 2017/2/20		4,280,100
669	国庫短期証券 2017/6/12		3,020,099
657	国庫短期証券 2017/4/17		2,860,055
659	国庫短期証券 2017/4/24		2,650,077
652	国庫短期証券 2017/3/27		2,530,020
642	国庫短期証券 2017/2/6		2,410,036
644	国庫短期証券 2017/5/12		2,070,088
651	国庫短期証券 2017/3/21		1,970,049
660	国庫短期証券 2017/5/1		1,450,027
638	国庫短期証券 2017/1/16		1,270,010

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,415,714,754円
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	17,415,714,754
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	17,399,953,390口
1万口当り基準価額(C / D)	10,009円

\* 期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01(為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム-α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型) -スーパー・ハイインカム- α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 3 -858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 6 -3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 7 -828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 4 -3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト12 Ver 2 -549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド-シフト11 Ver 5 -2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎

月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト11-3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト12-679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型) -シフト13-1,287,713,056円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,299,426円
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	△ 2,491
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	△ 174,287
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 8,476,204
(E) 前期繰越損益金	16,325,703
(F) 解約差損益金	△ 3,147,995
(G) 追加信託差損益金	11,059,860
(H) 合計(D + E + F + G)	15,761,364
次期繰越損益金(H)	15,761,364

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。